

製品名: P2Y10 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab15606

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	P2RY10
別名	
遺伝子 ID	27334.0
SwissProt ID	O00398
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 80-160

背景

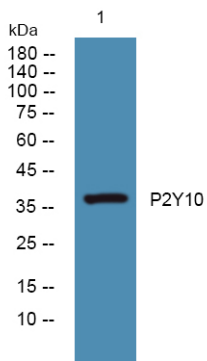
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アデノシンおよびウリジンヌクレオチドによって優先的に活性化される G タンパク質共役受容体ファミリーに属します。この遺伝子の擬似遺伝子は、X 染色体近傍に存在します。複数の選択的スプライシングを受けた

転写産物が観察されています。[RefSeq 提供、2016 年 4 月], 発生段階: 単球経路に沿った前骨髄球細胞分化中にアップレギュレーションされますが、顆粒球細胞分化中にはアップレギュレーションされません。、機能: G タンパク質共役プリンの推定受容体。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、組織特異性: 白血球で弱い発現を示します。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、P2Y10 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩